

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成21年10月21日 午後1時30分から午後5時00分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、木下幸光委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、滝沢由美子委員、橋詰真由美委員、松代典之委員、依田せつ子委員(欠席者7名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、大沢政策企画局長、伊藤交流・文化施設建設準備室長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犂山産業観光課長、近藤健康福祉課長、伊藤教育事務所長、児玉地域政策係長、掛川主任
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 21年11月16日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
  - 2 会長あいさつ(桜井会長)
  - 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
  - 4 報告事項
    - ・交流・文化施設整備について(整備検討委員会からの最終報告に関する報告)  
(政策企画局長)交流・文化施設は、上田市として大きな政策課題である。市民の代表の方にお願ひし、市民の立場から交流・文化施設の方向性を考えていただく検討委員会を立ち上げて、会議を重ねていただいた。検討委員会からの最終報告に基づき、11月中には市の方向性を出していきたいと思っている。  
(交流・文化施設建設準備室長)
      - ～交流・文化施設等整備検討委員会からの  
「JT開発地における交流・文化施設のありかた検討結果報告書」に基づき説明～
- 【説明要旨】
- 8月28日、交流・文化施設等整備検討委員会から市長に対し、「JT開発地における交流・文化施設のありかた検討結果報告書」が提出された。検討委員会は25名(内、武石地域の委員2名)で、27回会議を重ねてきた。
- <理念と目標>
- ・基本理念『人にやさしい 夢と未来を紡ぐ 創造都市うえだ』  
「創造都市」・・・そこで活発な創造活動が行われることによりさまざまな芸術・文化の醸成や豊かな生活文化が育まれ、新たな産業の振興、環境問題への取り組みなども含め、持続的発展を遂げていく都市像を表している。
  - ・交流・文化施設が果たす役割
    - 「育成」・・・文化の薫り高く、魅力と風格あるまちづくりに向けた 人づくり
    - 「鑑賞」・・・芸術とのふれあいから感動が生まれ 豊かな心が育まれる
    - 「創作」・・・誰もが等しく自由に 感動や喜びを広げる創作体験
    - 「交流」・・・さまざまな交流により 新たな出会いと創造が始まる

< 施設の整備方針 >

・施設整備の方向性

「1文化の薫るまちづくりの拠点」「2気軽に利用でき、親しみ、憩える施設」「3地域の活性化につながる施設」「4人にも地球にも優しい施設」「5上田市・東信濃地域に広がる文化圏のシンボルとなる施設」の5項目を提案。

・多目的ホール・・・約 9100㎡

(大ホール)新たなコンベンション利用を見据えた規模、東信濃地域全体の文化芸術活動の中心拠点としての規模・機能の確保等 1,700席程度が適当と考える。

(小ホール)音楽や演劇等での利用を中心とした固定席の設置を望む意見を多数いただいた。市民が気軽に利用できるよう、300席程度が適切な規模と考える。

・美術館・・・約 2500㎡

郷土出身、郷土に深いかかわりを持った作家の常設展示と様々な内容の企画展示を想定した「展示室」、市民が気軽に活動の成果を発表できる「市民ギャラリー」、さまざまなワークショップの場「アトリエ」、「収蔵庫」等を整備すべきと考える。

・交流施設・・・約 2400㎡

市民の主体的文化芸術活動を支える「リハーサル室」「練習室」、広く市民が自由に利用できる交流空間「多目的ルーム」、さまざまな市民活動の拠点やコンベンション等での利用を想定した「会議室」、市民とともに歩み育てる「ボランティアルーム」、「エントランスホール」は明るく開放的で市民緑地・広場とも連携した交流と賑わいの空間として整備すべきと考える。

・市民緑地・広場・・・約 18000㎡

環境・景観に配慮した人々の癒しにつながる「芝生広場」と、人々の賑わいにつながる「交流広場」を中心に整備すべきと考える。市民からは「親水的な空間」「子どもが遊べる空間」「芸術空間」等の整備についての要望が多くあった。

・管理部門・・・約 3000㎡ 託児サポート施設、事務室、救護室、廊下、階段、機械室等

・駐車場・・・約 12000㎡ 普通車約 400台、大型車必要台数分

全体敷地面積 約 45000㎡

< 建設にあたって >

中間報告提示後、市では全体事業費の見直しを行い、上限を当初の 150億円から 1割減額し 135億円に設定し、検討委員会としても了承した。

【質疑・意見】

(会長)このことについて、質問や意見があればお願いしたい。

(委員)丸子や真田にある文化会館の運営経費は、現在どうなっているのか。

(政策企画局長)今回の検討委員会の報告を尊重しながら、これから市で検討を重ね、市としての方向性を決めていかなければいけない。今回の委員会報告ですべて計画が進むわけではない。

(交流・文化施設建設準備室長)平成 19年度の各施設の事業費は、次のとおり。

【上田市民会館】総事業費 5800万円(内事業費 2000万円)

【上田文化会館】総事業費 7,200万円(内事業費 2000万円、人件費 5100万円)

【丸子文化会館】総事業費 9000万円(内事業費 4900万円、人件費 2500万円、運営費 1,600万円)

【信州国際音楽村ホールこだま】総事業費 3,200万円（内事業費 700万円、人件費 1,200万円、運営費 1,300万円）

【真田公民館】総事業費 5,300万円（内事業費 1,100万円、人件費 3,500万円、運営費 600万円）  
（委員）大ホールは 1700席と大きいですが、駐車場スペースはどのくらいあるのか。また、長野市のホクト文化ホールのようにできるだけ企業参加も呼びかけてほしい。

（交流・文化施設建設準備室長）報告書では、駐車場は 400 台程度となっているが、具体的な大きさはまだ決まっていない。400台では少ないという意見もいただいている。上田駅も近く、中心市街地であり公共交通機関の便がよいところなので、できるだけ公共交通機関を使ってほしいという願いもこめてい

（委員）検討委員会からは「建設にあたって、市民合意に基づく整備を進めてほしい」となっているが、どのように市民に働きかけていくつもりか。

（政策企画局長）難しい問題ではあるが、将来の上田を見据えたまちづくり、魅力づくりを行っていき

（委員）公共交通機関の便がよいと言ったが、市内には武石地域を含め川西や室賀など便の悪いところも多数ある。交通面の整備も進めてもらいたい。

（会長）市の施設は、全般的に駐車スペースが少なすぎる。施設を建設した場合には、そこで催される内容についても充実させてもらいたい。

武石地域内現地視察（午後 2時 20分～4時 20分）

自治センター 鳥屋（ヒガンバナ） 下武石（武石公園） 唐沢（アジサイ公園） 西  
武（市民農園予定地） 大布施栄栗（もみじ） 小沢根（小沢根川沿いの桜） 余里（花桃）  
自治センター

## 5 会議事項

・武石地域公園化構想について（全体協議）

（会長）それでは、前回の部会での協議の内容について、それぞれの部会から報告をお願いしたい。

（地域振興部会副会長）～地域振興部会（H21.9.10開催）の内容について報告～

（市民生活部会長）～市民生活部会（H21.9.10開催）の内容について報告～

（会長）来月の協議会で、ある程度方向性や内容をまとめ、12月の最終の自治会長会で話をしたいと考えている。本日はあまり時間がないが、総体的な意見があればお出しいただきたい。

（委員）これから自治会へお願いしていく場合には、わずかでも補助金を出して自治会員にもやる気を出してもらいたい。活動するにあたっては、各自治会から計画書を出してもらったらどうか。また、植栽した花木のオーナー制度もぜひ検討してもらいたい。

（会長）苗木の購入の経費以外も、市から出してもらえるのか。

（センター長）今回の公園化構想の場合は難しいと考えている。自治会に交付しているコミュニティ活動等交付金を、こういった事業に活用してもらいたい。苗木のオーナー制度については私も考えており、オーナーとなった方が花の季節だけでなく、年間を通じて武石を訪れてくれるようにしたいと思っている。小沢根川沿いの桜並木や武石公園のツツジなどは、市として植栽や保護管理に取り組んでいく予定。

（会長）行政が積極的にまちづくりに取り組むことも必要であり、そうした姿勢が地域の盛り上がりにつながっていくかもしれない。

（委員）オーナー制度も植栽した後の管理が大事であり、枯れてしまっただけでは意味がない。自治会として花木の植栽に取り組む方法もあるが、自治会からさらに個人へ苗木を配り、各個人で木を植え管理してもらうのもひとつの方法ではないか。

（委員）基本的には自治会単位で責任を持って実施してもらうことが現実的ではないかと思う。活動の仕方には、自治会ごとに活性化組合やシニアクラブの活用などいろいろな状況があると思うので、各自治会でどんな方法をとれるか調査したらどうか。

(会長)地域ごとに植える樹種は決めるという方法でよいか。やはり同じ種類の花木でまとまっていた方が見ごたえもある。

(委員)自治会長は1年で交代してしまうので、各地区の活性化組合などを活用していった方がよいのではないか。

(産業観光課長)活性化組合は、数年前に全地区で立ち上げていただいたが、現在は機能しているところ、していないところがあり、活動しているのは半分ほどかと思う。

(会長)次回も引き続き、この問題について協議をお願いしたいと思う。

## 6 その他

(委員)～自治基本条例検討委員会での内容「まちづくりのルールづくり」について説明～

(事務局)～まちづくり懇談会(10/26(月)19:00～ 場所:武石公民館)への出席のお願い～

(センター長)11月23日(月・祝日)に上田市発足3周年記念式典が開催され、地域協議会の委員も招待される予定。都合をつけて出席していただきたい。

(会長)～表彰検討委員会の報告～

## 7 閉会(小山副会長)